

## 国際社会学部

## ジェンダー研究

Gender Studies



## どのような学問か

ジェンダー研究は女性解放のための思想であるフェミニズムによって生まれたものです。理論上はありとあらゆる分野においてジェンダー研究は成立し得ます。それほど、ジェンダーというものは、深く社会の仕組みに関連してしまっているのです。ジェンダー研究はもともと「女性学」と呼ばれていました。女性学は第二波フェミニズム（日本ではウーマン・リブとも呼ばれます）が学問として成立したのですが、既存の学問が研究手法、または担い手に至るまで男性中心であることを批判し、「女性の、女性による、女性のための学問」を打ち立てました。その後、フェミニズムを経たうえでの男性自身の自己省察といえる「男性学」も発展しました。その後、「女性」や「男性」というカテゴリ内の問題というよりは、それらを社会的に位置付ける価値観、信念、構造を研究対象とする「ジェンダー研究」が発展しました。

## 外大のジェンダー論

講義では、現代社会のジェンダーをめぐる具体的に社会問題やメディア表象を契機として、ジェンダーをめぐるわたしたちの社会がどのように形作られているのか（現状把握）、問題の根幹は何なのか（問題提起）、さらにどのような解決可能性があるのか（社会を相対的に分析する方法）といった視点を涵養します。

ジェンダーとセクシュアリティは相互に絡まり合っている概念であるためそれらの相互作用とともに、異性愛における「ロマンティックラブ・イデオロギー」、そしてフェミニズムの歴史、LGBTQの歴史を学びます。また男性の立場から書かれた、規範的男性性に批判的な男性研究を取り入れながら、男性にとっての生きづらさについても深く学んでいきます。その後、新自由主義と連動した「ポストフェミニズム」と呼ばれる現象について学び、各界で推進されている「女性の活躍」をめぐるどのようなことが起きているのか修得します。

大学院ゼミでは、ゼミ生の関心に沿った文献購読を行い、丁寧に調査方法について指導します。3年生の学年末に「ゼミ論」を完成させ、その後卒業論文に向けて、研究を深めます。

関連する授業一覧（2023年度）

- ジェンダー論入門
- 基礎演習
- ジェンダー論演習
- 卒業研究演習
- 現代世界論研究
- 日常生活とつながるジェンダー 1 / 2

## ゼミ

- 竹田恵子（ジェンダー論）

## 関連する学問分野

- セクシュアリティ研究
- クィア理論
- 男性性研究
- 女性学
- 男性学

## おすすめの本

【書籍】

- 江原由美子『増補 女性解放という思想』（ちくま学芸文庫、2021年）
- 上野千鶴子『生き延びるための思想 新版』（岩波現代文庫、2012年）

【作品】

- 《S/N》（ダムタイプ、1994年）